

2023年度の鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況は以下のとおり

## 1. 整備費総額 13億58百万円

【内訳】設備・改良費：7億19百万円

更新費：2億46百万円

維持管理費・システム改修費：3億91百万円

## 2. 設備・改良費の内容

- ・ホームドア整備（枚方市駅 3・4番線）
- ・車両のフリースペース設置（7000系車両1編成）

## 3. 更新費の内容

- ・エレベーター更新（枚方市駅2基・中書島駅2基）
- ・行先表示器更新（天満橋・京橋駅）
- ・列車接近表示器（御殿山駅）
- ・運行情報配信システム（旅客案内ディスプレイ）更新

## 4. 維持管理費の内容

- ・維持管理費（ホームドア、エレベーター、運行情報配信システム）
- ・収受システム改修費

## 5. 2023年度の料金徴収によるホームドア設置番線数及び段差解消駅数

- ・ホームドア設置番線数 2番線
- ・段差解消駅数 0駅

## 6. 2023年度の徴収額 13億78百万円

【内訳】 定期外：10億22百万円

定期券：3億56百万円

## 7. 整備等計画の進捗状況：当初の計画通りに進捗しています

- ・当社では、2025年10月（予定）の実施に向けて、12月3日に国土交通大臣宛に京阪線・大津線旅客運賃の上限変更認可申請を行いました。
- ・運賃改定の実施にあわせて、2023年4月1日より京阪線で加算しておりました「鉄道駅バリアフリー料金」は廃止いたします。
- ・可動式ホーム柵をはじめとするバリアフリー設備の整備、維持更新は、引き続き計画的に実施してまいります。

# 【ご参考】今後の主な取り組み

## ■京阪本線連続立体交差事業

・踏切除去による交通渋滞や踏切事故の解消や、駅の高架化による地域分断の解消により市街地の一体化を図り、地域の発展に貢献



区間	寝屋川市駅～枚方市駅間
距離	5.5km
踏切除去数	21箇所

## ■老朽化設備の更新、修繕

- ・環境にも配慮した13000系車両を計67両導入。製造から50年を超える車両との置き換えを順次実施
- ・老朽化が進む変電所や保線機械類等を計画的に更新



車両更新



変電所



レール削正車

## ■車内防犯カメラ設置の加速

- ・2028年度までに京阪線全車両に車内防犯カメラを設置



## ■防災対策・保安度の向上

- ・激甚化する自然災害に備え、高架橋などの耐震補強や橋梁の洗掘対策を引き続き推進



耐震補強工事



橋梁洗掘対策

- ・様々な異常時対応訓練等のソフト面の取り組みも実施



鉄道テロ対応訓練



総合事故復旧訓練



火災・水害等防災訓練

# 【ご参考】今後の主な取り組み

## ■ バリアフリー設備の整備

- ・可動式ホーム柵を計画的に整備  
(2028年度末時点で合計18番線を予定)
- ・京阪線全駅の改札付近にモニター付きインターホン設置



可動式ホーム柵



モニター付きインターホン  
(イメージ)

## ■ 淀屋橋駅コンコースリニューアル

- ・「淀屋橋駅東地区都市再生事業」と連携し、2025年度に淀屋橋駅コンコースのリニューアルを実施。新築されるビルとコンコースを一体的に接続することで、乗り換えや地上部との利用動線を改善し、利便性を向上



コンコースリニューアル (イメージ)



B1F 淀屋橋広場

## ■ 駅・車内環境の継続的な改善



トイレリニューアル



車内の車いすスペースの設置

## ■ 特別な乗車体験の提供

- ・上質な移動体験のさらなる提供に向け、2025年秋に3000系プレミアムカーの2両化を実施



## ■ デジタル化・WEB化推進によるサービス拡充

- ・QRコード乗車券のサービスを京阪線全線に展開。企画乗車券のほか普通乗車券にも対応
- ・2026年春を目途にWEBによる定期券予約サービス導入を検討